



今日のトピック 原油価格の動向 (2017年10月)

原油需要の拡大、OPEC協調減産で需給均衡へ

**ポイント1 OPEC生産量は前期比増加
OPEC生産枠を超過**

- 石油輸出国機構 (OPEC) 月報の2017年10月号によれば、7~9月期のOPEC原油生産量は日量3,274万バレルとなり、16年11月開催のOPEC総会で合意に達した生産枠の同3,250万バレルを同24万バレルほど上回りました。
- 内戦の影響等を考慮され、減産を免除されているリビア、ナイジェリアが生産を拡大したうえに、イスラム国との戦費調達のためイラクが上限を超える生産を続けたためです。

**ポイント2 需給は引き締まる方向
求められるOPEC生産枠の遵守**

- 一方、原油の需要は、世界的な景気拡大を背景に堅調に推移しています。OPEC月報によれば、17年の原油需要は世界全体で日量9,680万バレル、前年比同145万バレルの増加となる見通しです (前月予測値は同9,677万バレル)。
- 非OPEC諸国の供給量が同68万バレル増の同5,769万バレル程度 (前月の予測は同5,780万バレル) と予測されるため、OPECがここからさらに増産しない限り、需給は引き締まる見通しです。

今後の展開 原油価格はレンジ内での推移へ

- OPECの協調減産については、11月の総会で期間延長の合意が成立する可能性が高まっているもようです。ただ、原油価格の上昇はシェールオイルの生産増を誘発するため、上値も限られる見通しです。原油価格は当面1バレル当たり50ドル前後で推移する見込みです。なお8月下旬から9月上旬に米国を襲ったハリケーンの影響は限定的だったようです。

【OPEC加盟国の原油生産枠と生産実績】

国名	生産枠 (A)	生産 (2017年)		
		4-6月	7-9月(B)	(B)-(A)
サウジアラビア	1,006	995	999	▲ 7
イラク	435	445	448	13
イラン	380	379	383	3
UAE	287	291	291	4
クウェート	271	271	270	▲ 1
ベネズエラ	197	196	193	▲ 5
アンゴラ	167	165	164	▲ 3
アルジェリア	104	105	105	1
カタール	62	61	61	▲ 0
エクアドル	52	53	54	1
ガボン	19	20	20	1
リビア	-	71	93	-
ナイジェリア	-	161	179	-
赤道ギニア	-	14	14	-
OPEC総計	3,250	3,229	3,274	24

- (注1) 単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは内戦の影響が考慮され、生産枠の設定を免除されています。
 (注2) 赤道ギニアは2017年5月の総会で加盟が承認されました。そのため、現在のところ生産枠の設定はありません。
 (注3) 四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しません。
 (出所) OPEC月報2017年10月号等を基に三井住友アセットマネジメント作成

【原油価格と北米のリグ稼働基数】



- (注) データは原油価格が2013年6月7日~2017年10月23日、リグ稼働基数が2013年6月7日~2017年10月20日。ともに、週次データ。WTIは原油価格の代表的な指標のひとつ。
 (出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここもチェック! 2017年9月19日 原油価格の動向 (2017年9月)
2017年8月16日 原油価格の動向 (2017年8月)**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。